

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 広島県立西条特別支援学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☒ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒739-0036

広島県東広島市西条町田口314

E-mail saijyo-sh@hiroshima-c.ed.jp

Website http://www.saijyo-sh.hiroshima-c.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 44 名 女子 29 名 合計 73 名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～17歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、「肢体不自由特別支援学校として、保護者や隣接の施設・病院と緊密な連携のもと、児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、主体的に生きる力を育てる。」を学校理念として、ESDを「個に応じた主体的な学びを行う」と捉え、ESDの実践を通して「児童生徒が、自分自身を見つめ、個に応じた課題の発見と発展的な解決に向けた能力の育成」を目標とした。

具体的には、①平和学習に係わる活動、②国際交流に係わる教育を行った。

① 平和学習に係わる活動

本校では、平和学習の一つとして約7年前から、「NPO法人ひろしま点灯虫の会」が主催しているピースキャンドルの制作に参加している。ピースキャンドルの作成とともに、平和学習に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた事前学習、事後学習を行い、平和の大切さを学習した。

- ・7月に本校体育館で行った平和学習（ピースキャンドル作り）では、ロウをとかして牛乳パックに入れ、各自がピースキャンドルを制作した。ピースキャンドルの側面には、事前学習で学んだことを基に平和の願いを込めてメッセージを書いたり、絵を描いたりした。完成したピースキャンドルは、児童生徒が集合した中で体育館の照明を消し、ステージに飾り点灯した。その後、児童生徒

が平和について考えたこと感じたことを発表し、平和の歌をみんなで合唱した。

- ・ 8月6日の広島原爆記念日には、本校で制作したピースキャンドルを原爆ドームの周りに他の参加校のピースキャンドルとともに並べ、点灯した。またタルバッカ特別支援学校との交流で送られてきたピースキャンドルも並べて点灯した。
- ・ 事後学習では、7月の校内ピースキャンドル作り、平和の思いの発表や合唱の様子、8月6日のピースキャンドルの点灯の様子等をビデオ視聴することで「平和への願い」を新たにした。

②国際交流に係わる教育

国際理解学習として、多様な文化を受け入れる意識を育むために、スウェーデンのタルバッカ特別支援学校と姉妹校提携を結び、メールや手紙、作品などでの交流を深めている。

- ・ 今年度は年間に2回、手紙と作品での交流を行った。本校からはクラスごとに思い思いの作品を制作し贈った。タルバッカ特別支援学校からもたくさんの作品をいただいた。交流のための作品を制作すること、届いた作品を展示スペースで見ること、児童生徒にとって日本以外の文化を知り、多様な文化を受け入れていく意識を育む事ができている。また、本校から送った作品の内容を踏まえて、「書」や「ピースキャンドル」に取り組みられ、作品が送られてくるなど、お互いが発信する内容に関わる交流も深まってきているのではないと思われる。



平和集会での作品

ゲルニカ・折り鶴の灯籠
ピースキャンドル



タルバッカ特別支援学校の作品

書・ピースキャンドル・美術作品
活動の様子の写真など

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

教科書・スウェーデンの昔話や物語
スウェーデンの地図やタウン情報誌
タルバック特別支援学校のホームページ
スウェーデンの文化等に関わるウェブサイト

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年間指導計画の中の、美術や生活単元学習及び各教科、特別活動等で作品作りやスウェーデンの文化に触れる活動、（6・7月及び11・12月）平和学習（6・7・8月）を行う単元を設けている。
生徒指導部、海外交流推進委員会、児童生徒会より、児童生徒及び教職員に活動の主旨や活動内容についてを発信し、取り組んでいる。
活動に関わるアンケートを行い、児童生徒の声や達成感が得られたかどうか反省と課題をまとめ、次年度に向けての検討を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

生徒指導部及び海外交流委員会が連携を行い、定期的に会議を行っている。
年度初めに活動計画の確認、交流作品作り及び平和学習実施前に目的・活動内容・注意事項などの共通確認を行う。交流作品を送る前の作品確認をおこなう。年度末に反省と課題を確認する。これらの活動を通して、次年度への引き継ぎを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

校内での児童生徒の活動を児童生徒及び教職員にアンケート等を実施することにより自己評価を行う。その中での反省と課題を次年度の活動に活かす取り組みを行っている。
その活動内容をもとに、全国特別支援学校 ESD フォーラム発表資料作成を作成し、発表する中で助言等をもらい、外部評価として受けた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

広島県及び中国地方において、ユネスコスクールに加盟している特別支援学校は本校のみであり、なかなかネットワークを持ったり情報発信をすることができていない。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度） ※チェック事項 2-3 に対応

広島県及び中国地方において、ユネスコスクールに加盟している特別支援学校は本校のみであり、広島県での小・中・高等学校及び大学での発表報告会や協議会になかなか参加することができていない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度） ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成については、参加することができていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校のユネスコスクールの加盟申請及び活動の柱は、平和活動と国際理解教育にある。具体の活動としては平和学習、ピースキャンドル作成、平和集会、さらにその活動を海外の姉妹校提携している特別支援学校と情報交換、その交流のエッセンスを毎年少しずつではあるが作品に反映させた作品交流ができています。

その中で、ピースキャンドル作成の際、講師を招聘していたものを、本校教員がイニシアティブをとるようになったり、保護者に点灯式に参加してもらったり、交流作品を見てもらい理解が深まるなど、活動が広がりつつあると考えられる。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成 30 年度の活動計画については、これまで本校が行ってきた活動や取組を踏襲する形で、平和学習、ピースキャンドル作成、平和集会、さらにその活動を海外の姉妹校提携している特別支援学校と情報交換、交流を踏まえた作品作りをていねいに行っていきたいと思っている。

そして、機会をとらえてまずは、東広島市をはじめとし、広島市のユネスコスクールの活動に参加し、情報発信及び情報交換ができればと思う。